|  |
| --- |
| 名寄市職労青年部　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　VOL.２９ ２０１６年９月９日 |
| 58cec72dad44e755381ca663d2989661.jpg1472202288396.jpg8月26日（金）に名寄市立総合病院で今回が３回目となる院内青年部学習会を開催しました。参加人数は学習会２５人、交流会33人、うち初参加者が１０人以上（うち新人８人）でした。昨年に引き続き、副執行委員長であり市立病院総務課経理係の牧野長武さんによる「地方公営企業法の全部適用への移行」についての講演では、“公立病院改革プラン”について、また公立病院の経営形態の種類、全部適用により労働協約に法的拘束力があることなどを学習しました。「全部適用への移行により柔軟な運営ができるが、素敵な未来が待っているわけではない。良い方にも悪い方にもいくので今まで以上に労働組合への結集が必要」という言葉が印象的でした。1472202332577.jpg20160826_214557.jpg20160826_214644.jpg1472775054144.jpg1472775051505.jpg1472775045689.jpg全部適用について、講演してくださった牧野副執行委員長講演を聞いて「自由度の高い経営が可能になる分、病院単体での組織力・経営力が求められると感じた。」「この機会にさまざまなことが見直され、改正につなげられたらうれしい。労働組合が現在よりも一致団結することが大事だと感じた。」といった感想があり、全部適用移行についての理解と労働組合の重要性を認識しました。　分散会では「人員が少なく有休が取れない。休み希望を出しても渋られる。」「家庭がある人ばかり優先され、自分達の仕事や休みに目を向けてもらえない」という実態があり、それぞれの職場での問題が明らかになりました。交流会では病院幹事の声かけにより30人を超える参加があり、さまざまな部署の仲間と知り合える機会となりました。　今後も院内青年部学習会の定期開催をめざし、自分たちが長く働き続けられる職場環境作りのために、より一層結集して自分たちができる行動をしていきましょう。青年部を卒業されたあの人も参加してくれた交流会！分散会の様子 |